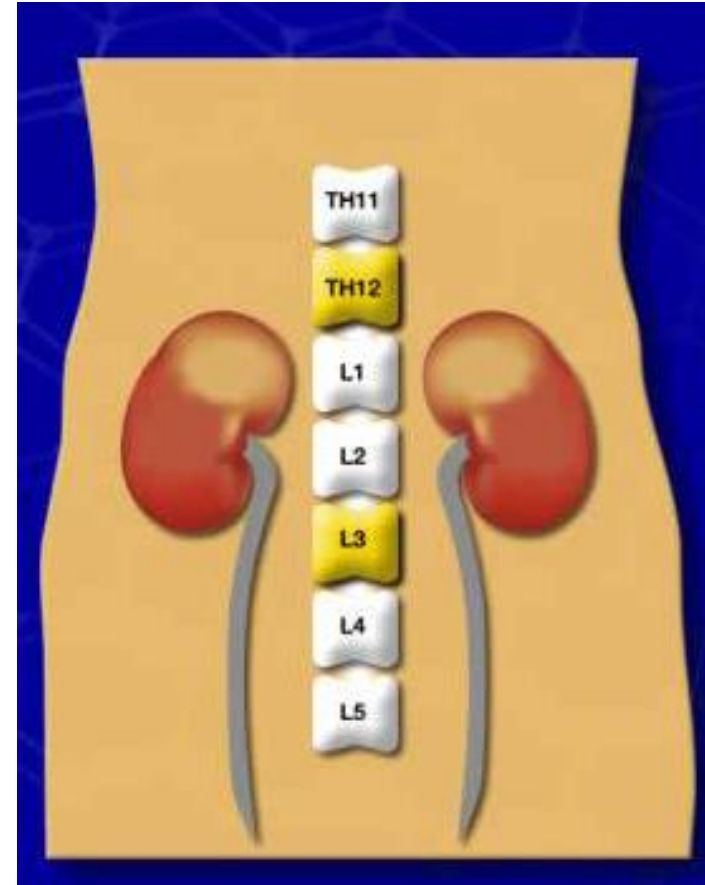


# 慢性腎臓病（CKD）とは？

\*CKD: Chronic Kidney Disease

腎臓は左右に1ケずつ:背中に近い位置にあります。



# 腎臓の働き

1. 尿をつくる.

2. 血圧を調整する.

3. 血液をつくる.

4. ビタミンDの活性化  
→骨を丈夫にする.

## 尿をつくることの意味

- ・余分な水分の排泄
- ・尿毒素の排泄
- ・電解質(ナトリウム、カリウム、カルシウム、リンなど)のバランスをとる。
- ・身体のpHを一定に保つ。





## 腎臓の働きを示す指標：eGFRについて

・腎臓の働きの評価には、以下のような血清クレアチニン（Cr）値と年齢を用いた計算式から割り出した**推算糸球体濾過量（eGFR）**を用います。

$$\text{eGFR}(\text{mL}/\text{min}/1.73\text{m}^2) = 194 \times \text{Cr}^{-1.094} \times \text{Age}^{-0.287}$$

女性はこれに0.739をかける。

# CKDの定義



**CKD は次のように定義されます。**

- ① 検尿, 画像診断(レントゲンやCTなど), 血液検査, 病理(生検など)で腎臓に異常がある.**
- ②  $eGFR < 60 \text{ mL/分/}1.73 \text{ m}^2$**
- ①, ②のいずれか, または両方が3ヵ月以上持続する.**

# CKDは何故重要なのでしょうか？



- 世界的に末期腎不全による透析患者が増加しており、医療経済上も大きな問題である。
- 日本の**成人人口の約13%**、1,330万人がCKD患者である。
- 糖尿病、高血圧などの生活習慣病が背景因子**となって発症するCKDが多い。
- CKDは、**末期腎不全・心血管疾患のリスクが高く、国民の健康を脅かしている。**

# CKDの重症度分類: 尿蛋白とeGFRにより, この表のように分類されます.



原疾患		蛋白尿区分		A1	A2	A3
糖尿病		尿アルブミン定量 (mg/日) 尿アルブミン/Cr比 (mg/gCr)		正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
				30未満	30~299	300以上
高血圧 腎炎 多発性嚢胞腎 腎移植 不明 その他		尿蛋白定量 (g/日) 尿蛋白/Cr比 (g/gCr)		正常	軽度蛋白尿	高度蛋白尿
				0.15未満	0.15~0.49	0.50以上
GFR区分 (mL/分 /1.73m <sup>2</sup> )	G1	正常または高値	≥90			
	G2	正常または軽度低下	60~89			
	G3a	軽度~中等度低下	45~59			
	G3b	中等度~高度低下	30~44			
	G4	高度低下	15~29			
	G5	末期腎不全 (ESKD)	<15			

重症度は原疾患・GFR区分・蛋白尿区分を組み合わせたステージにより評価します。CKDの重症度は死亡, 末期腎不全, 心血管死亡発症のリスクを緑 ■ のステージを基準に, 黄 ■, オレンジ ■, 赤 ■ の順にステージが上昇するほどリスクは上昇します。